

## 郢客唱陽春

【読み】 エイカク ヤウシユンヲトナフ

【意味】 卑俗な音曲に馴れてゐる郢の人の間で高尚な陽春の曲を歌ふこと。

高雅のものが卑俗の間に容れられぬ喩。

〔宋玉、對楚王問〕客有<sub>下</sub>歌<sub>ニ</sub>於<sub>ニ</sub>郢中<sub>ニ</sub>者<sub>上</sub>、其始曰<sub>ニ</sub>下里巴人<sub>ニ</sub>、國中屬而和者數千人、其爲<sub>ニ</sub>陽阿・薤露<sub>ニ</sub>、國中屬而和者數百人、其爲<sub>ニ</sub>陽春・白雪<sub>ニ</sub>、國中屬而和者、不<sub>レ</sub>過<sub>ニ</sub>數十人<sub>ニ</sub>、引<sub>レ</sub>商刻<sub>レ</sub>羽、雜以<sub>ニ</sub>流徵<sub>ニ</sub>、國中屬而和者、不<sub>レ</sub>過<sub>ニ</sub>數人<sub>ニ</sub>而已、是其曲彌高、其和彌寡。

【参照】『大漢和辞典』 大修館書店

## 郢 エイ

【意味】 中国、春秋時代の楚<sub>そ</sub>の都。「郢曲」

〔参考〕 郢は享樂的な都であったという。そのため、「俗・みだら」の意に使われることがある。

郢曲 エイキヨク

【意味】

② 催馬<sub>さいば</sub>楽<sub>ら</sub>・風俗歌<sub>ふうぞくうた</sub>・今様<sub>いまよう</sub>など中世・中古の歌謡<sub>はやりうた</sub>・流行歌<sub>はやりうた</sub>の総称。

② 低俗な音楽。俗曲。「由来」 昔、中国、楚の都郢で歌われた俗曲の意から。

【参照】『漢検 漢字辞典』